



2020.8.21 | 算数習熟度担当

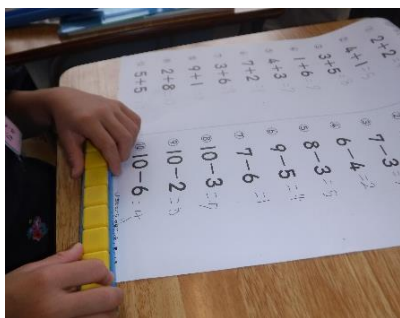
もうすぐ2学期が始まります！

1学期はいつもよりかなり短くなりましたが、順調に学習を進めることができました。習熟度別の学習にも慣れ、子供たちは最後まで元気に取り組みました。学年が上がり、学習内容が難しくなったと感じた子が多かったようです。2学期は復習の時間を取りながら進められるようにしたいと思います。



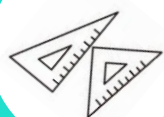
1年生

1年生は、学習用具の基本的な使い方を覚え、数字の書き方や数え方、10までのたし算、ひき算の学習を進めました。ノートは左から書くことや文章を読むことなどを、みんなで一緒にゆっくりとやっていました。たし算、ひき算では、ブロックを使って考えたり、答えを確かめたりしました。式から答えを求めることができるようになり、自信をつけてきた子も見られます。ノートの書き方に戸惑う子もいますが、学力向上支援講師がサポートしながらノートを書いていました。



2年生

2年生は、3桁の数や長さ、水のかさなどの学習をしました。水のかさの学習では、実際に教師が牛乳パックに水を入れて見せ、1L=1000mLだということを確認することができました。また、大型モニターを使ってペットボトルに何mLのお茶が入っているのか確認しました。教科書では「mL」と表記されていますが、商品には「ml」と書かれていることが多いです。アルファベットの大きい文字、小さい文字を学習する前なので、同じ単位だということを知らない子もいます。生活の中でそういうことにも気付けるといいですね。



◆定規やのり、はさみ、コンパス、三角定規、分度器など、算数ルームに忘れ物が増えていきます。しっかり記名をして、落としても戻ってくるようにしたいです。ご確認をお願いします。

デジタル教科書の活用

今年度より教科書が変わりました。それに伴い、算数で使っていたデジタル教科書も新しくなりました。教師用タブレットを使って教室のモニターに児童のノートなどを写したり、アニメーション教材などを見せたりするだけでなく、教科書そのまま見せることができます。見づらいところは拡大できるので便利です。加筆したり、線を引いたりして活用しています。また、デジタルコンテンツを使うと、画面上で図形の一部分を切り取って移動させたり、回転させたりすることができます。子供たちにタブレット1台ずつというのは、もう少し先になりそうですが、デジタル教科書を有効に使って指導したいと思います。



★9月のチャレンジタイム

16日(水) 2・3年(2:30~3:15)

23日(水) 1・4年(2:30~3:15)

対象となるお子さんには担任から伝え、ご家庭に連絡します。



★東京ベーシック・ドリル

2年生以上は、9月2日(水)に東京ベーシック・ドリルの診断テスト2回目を行います。今回も前学年の学習内容のテストです。前回のテストの見直しをしてから取り組みます。

児童の「1学期の振り返り」から

中学年 ▶

★3年★

「習熟度別の授業で、初めて他のクラスの人と勉強したので、緊張しました。」

「みんなといっしょに長いものの長さを測ったのが楽しかった。」

「習熟度別の授業は、クラスが変わるのがいいと思いました。一人の先生だけでなく、いろいろな先生から教わるからです。」

★4年★

「休校中に出された課題を一人でやるとわからなかったけれど、みんなと学校でやったらすらすらとできるようになったから、うれしかったです。」

「わり算の筆算の時に、説明をたくさんしたので、説明をする力がついたと思いました。みんなの前でもすらすら言えるようにしたいです。」

★5年★

「直方体と立方体の体積の学習は、はじめ全然意味がわからなかったけど、今は得意分野になりました。比例の授業では数直線を使いました。口の式も使いました。数直線が書けるようになったし、口を使った式も今は完ぺきになりました。」

「一番難しかったのは比例です。ずっと説明が苦手だけど、今は少しならできるようになりました。」

高学年 ▶

★6年★

「家でのワークシートを使った学習では、家の人と一緒に丸付けをしたり、大事なところに色を付けたりしました。一斉登校になってから、それまでの勉強の復習や新しい単元を学習しました。やっぱり家で、一人でやるよりも、学校でみんなや先生と学習するほうが分かりやすかったです。」

「休校の後、学校が始まって、家でやるよりも集中できてしっかり教えてもらえるので、学校が始まってよかったなと思いました。」